



「地域に浸る旅」を目指して ～吉野・旅ともツアーズ～

「吉野・旅ともツアーズ」は、平成26年7月に吉野ケーブルや路線バスを運行する「吉野大峯ケーブル自動車株式会社」（代表取締役：内田恭氏）の旅行部門として設立された。

内田社長は、同社の経営資源である吉野山ロープウェイや路線バスの輸送力を活かして、「機動力」「企画力」「地域力」を兼ね備えた「旅行総合サービス業」を目指している。

■「地域資源活用事業」の認定

平成26年に独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下中小機構）が募集する「地域資源活用事業」に「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』を活用したインバウンド観光事業『吉野大峯スピリチュアルツーリズム』の開発・提供」の事業計画を提出し、国の認定をうけた。

内田社長は、「この認定にチャレンジした際、ビジネスに精通した中小機構のプロジェクトマネージャーから、事業計画のブラッシュアップや、認定後の販路開拓など多岐にわたる支援を受けられたことは、現在の活動に大きく寄与している」と言う。

■インバウンド観光事業

吉野大峯地域に今も受け継がれる修験道や歴史・精神文化などを、訪日外国人観光客等を対象に「自分自身を見つめる」「自然の一部であることを感じる」などを目的とした体験プログラムを整備。また、関西国際空港と奈良県南部を送迎バスで繋ぐ二次交通サービスを付加した宿泊旅行商品も提供している。

現在は、シンガポールやタイの旅行会社と業務提携し、富裕層の少人数旅行に特化した、顧客の要望にきめ細かく対応するオリジナルなツアーを実施している。今後は台湾や香港、マレーシアなど各国で1社に絞った旅行会社と提携を結び、お互いの信頼関係を強くしていきたいと語る。

4月には、シンガポールから4組の参加があり、桜の名所として名高い吉野山の旅館に宿泊し、そ

の後大阪や神戸も観光し、関西を満喫して帰国したという。

■魅力あふれる体験メニュー

奈良の新しい魅力を発見できる「地域に浸る旅」を提案するとして、奈良の伝統や文化、美味しさや楽しさをオーダーメイド感覚で選んで体験するメニューが取り揃えられている。

奈良エリアでは、ミニ鬼瓦製作や大茶盛を体験。生駒・信貴・葛城エリアでは、茶釜づくりや写仏・写経体験。宇陀・桜井・橿原エリアでは、けまり体験や桃狩りを、吉野・五條エリアでは、森林トレッキングや「義経と静御前」体験など、さまざまなメニューから自由に選ぶ。



けまり体験



森林インストラクター
同伴のトレッキング

■「新しい関西・素敵旅」の提供

社長は、「古くは日本の中枢機能が存在してきた奈良を中心とした関西一円に、掘り起こされていない地域の資源や財産を常に探求し『まだ見ぬ日本』をテーマに、外国人観光客と日本人観光客にも『驚き』を提供する。また、中小機構を通じて知り合った、同じような志を持つ関西地区の仲間とも連携を図りながら、新しい旅の提案を模索していく」と力強く語る。

個人旅行者をターゲットとして、「希少価値」のある旅を提案する姿は、奈良県中南部の観光振興に新しい風を吹き込んでいる。（奥 桂子）